

保護者のみなさまのご意見をお聞かせください

小田原市立小・中学校の教育環境に関するアンケート調査票

小田原市教育委員会では、少子化の進行や新型コロナウイルス感染症のリスクに備えた新しい生活様式、さらにはＩＣＴを活用した学習環境の整備など、子供たちや学校を取り巻く状況が大きく変化していく中、子供たちにとって望ましい教育環境について検討する「新しい学校づくり検討委員会（以下『委員会』）」を設置し、子供たちの教育環境を充実させるために必要となる適正な学級数・学校配置のあり方や、新しい学校に必要な機能などについて検討することを予定しています。

※児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化の状況については、２～３ページをご覧ください。

委員会では、ＰＴＡ、自治会、小・中学校の校長会の代表者、公募市民と学識経験者で検討を進めていきますが、保護者のみなさまの考え方や意識を把握し、委員会での議論を充実させることを目的として、本アンケート調査を実施することにいたしました。

本アンケート調査の対象として、学校生活を何年か経験している小学校３・４年生及び中学校２年生の児童・生徒全ての保護者の方に回答をお願いしております。

調査は無記名であり、すべて統計的に処理するため回答者が特定されることはありません。また、他の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご回答ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ぜひ調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

2022 年●月
小田原市教育委員会

■回答いただくうえでの注意点

- ① 本調査は、Web フォームから（Google フォーム）から回答いただく調査になります。Web フォームへアクセスする方法は別紙「●●」をご確認ください。
- ② 回答は、本調査票を持ち帰ったお子さまの保護者の方がお答えください。
※小学３・４年生と中学２年生のお子さまがおられるご家庭には、複数の調査票がお手元に届く場合があります。その場合には、小学生の保護者・中学生の保護者それぞれの目線から、お手元に届いたすべての調査票に回答ください。
- ③ 回答は、各設問の枠の中からあてはまる選択肢について、該当する選択肢を選択して下さい。また、設問によっては文章をご入力ください。
- ④ 回答に迷う場合には、回答者の方の考えにできるだけ近いものをお選びください。
- ⑤ Web フォームへの回答は●月●日（●）までに回答をお願いします。
- ⑥ アンケートに関するお問い合わせは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

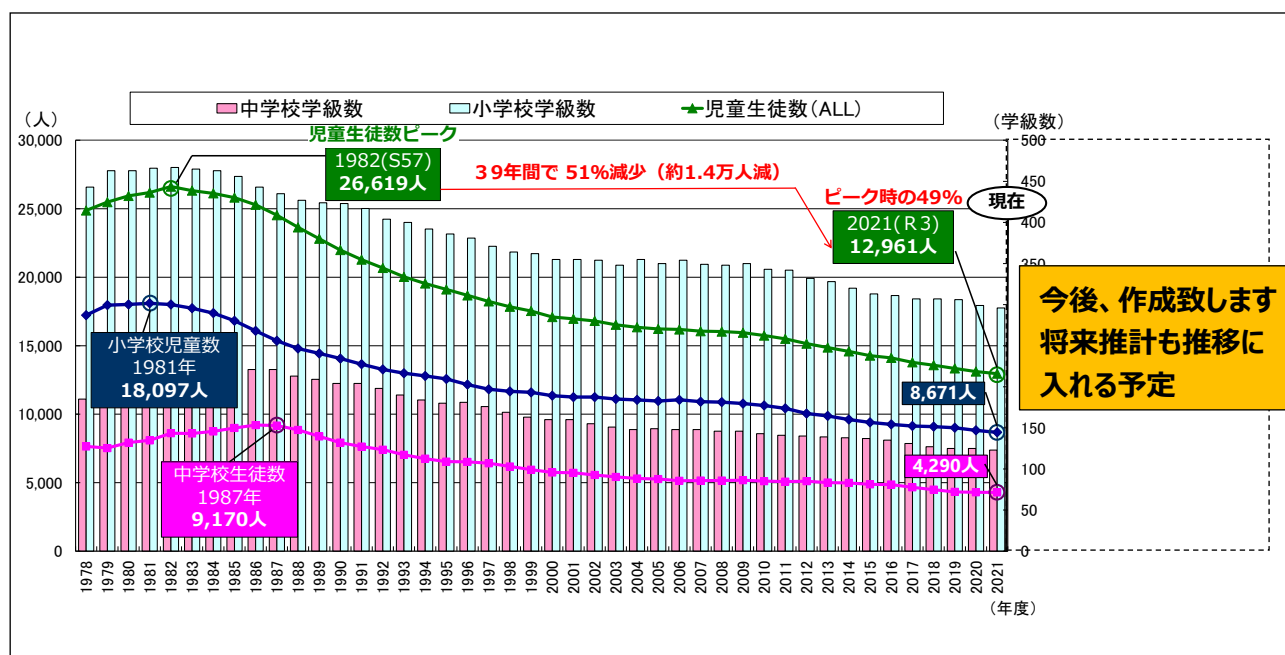
小田原市教育委員会教育総務課総務係
電話：0465-33-1671

（参考１）小田原市立小・中学校の児童・生徒数の推移と将来推計について

小田原市全体の児童・生徒数の推移は、下図のとおりで、昭和 57 年度の 26,619 人をピークに減少傾向が続いており、令和 3 年度では、12,961 人とピーク時の約 5 割まで減少しています。また、令和 3 年度時点の各学校の学級数は、普通学級数が 12 学級未満の学校が小学校 11 校（小規模特認校である片浦小含む。）、中学校 5 校の計 16 校となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の予測に基づいた今後の児童・生徒数の長期推計は、令和 22 年（2040 年）にはピークから約 65%減少（9,119 人）することが見込まれています。

<小田原市 児童生徒数・学級数の推移>

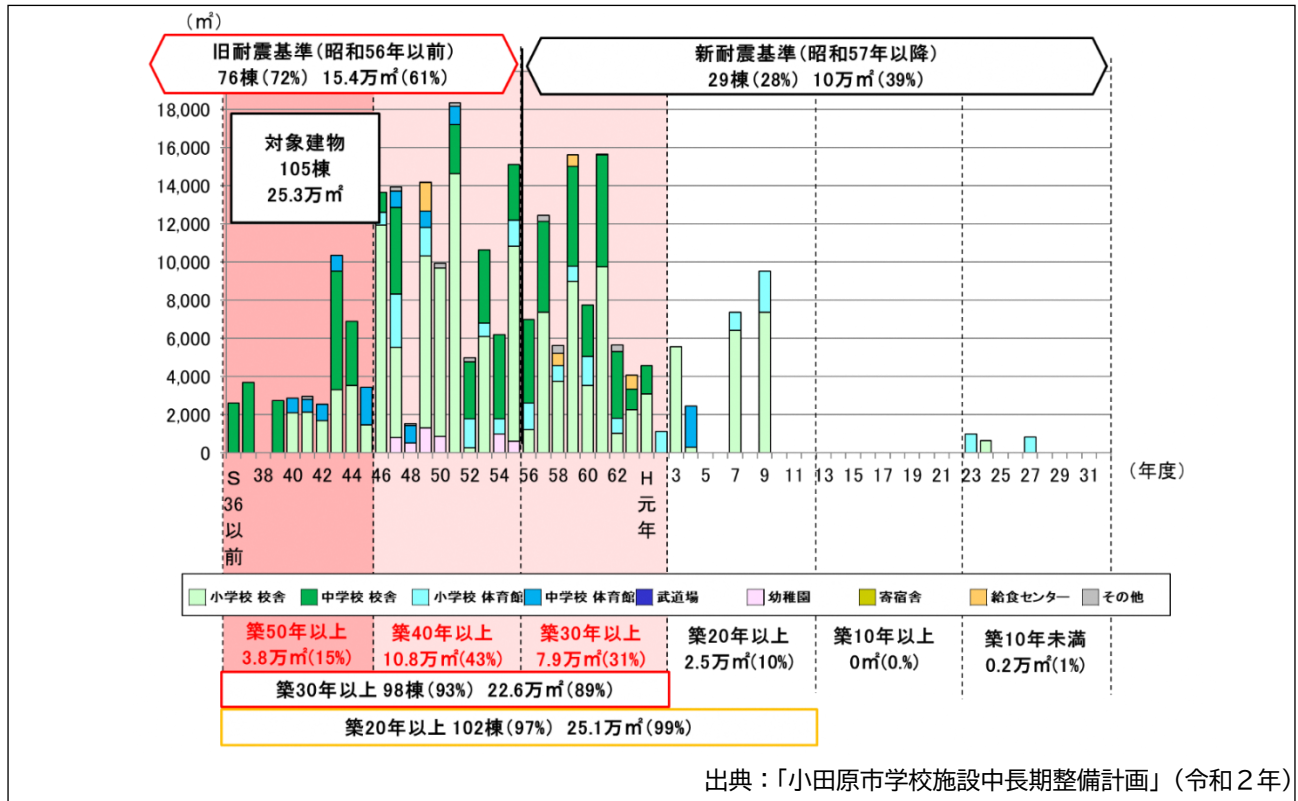


(参考2) 小田原市立小・中学校施設の老朽化について

下のグラフは、棟単位での築年別整備状況です。整備のピークは児童・生徒数が増加していた昭和43年から昭和62年の20年間で、この間に78棟、約19.1㎡を整備しています。一方で、平成10年以降はほとんど新規整備を行っていません。

下の表は、校舎のうち最も古い建築年度を基準とし、築年数別（10年単位）にグルーピングした際の施設数の一覧です。これによると、小学校5校は築40年未満ですが、残りの31校は既に築40年を経過し、老朽化が進行していることが分かります。

< 築年別整備状況 >



< 学校施設の築年別一覧表 >

築40年未満	【小学校】三の丸 大窪 下曾我 前羽 富士見
築40～49年	【小学校】久野 下府中 片浦 曾我 下中 報徳 豊川 【中学校】千代 国府津 酒匂※ 城北
築50～59年	【小学校】新玉 足柄 芦子 早川※ 山王※ 富水 町田 桜井 千代 国府津 酒匂 東富水 矢作 【中学校】城山 城南 泉 橘
築60年超	【中学校】白鷗※ 白山 鴨宮

※1 校舎のうち最も古い建築年度を基準

※2 ※を付した学校施設は、洪水浸水想定区域（河岸浸食）（早川小）、津波災害区域（山王小、白鷗中、酒匂中）となっている。

★4 ページからアンケート調査の設問になります。

本調査は、Web フォーム（Google フォーム）から回答いただく調査になります。
Web フォームへアクセスする方法はこの調査票に添付している「●●」をご確認ください。

あなた（ご回答者）とお子さまについて

問1：あなたがお住まいの住所の郵便番号を Web フォームに入力してください。（数字を入力）

※郵便番号がわからない方は、お住まいの住所（町名）を入力してください

【例】（町名： 扇町1丁目、荻窪 ）

問2：本調査票を持ち帰ったお子さまの学年にあてあまるものを Web フォームで選択してください。

（1）小学校3年生 （2）小学校4年生 （3）中学校2年生 （4）特別支援学級

問3：本調査票を持ち帰ったお子さまが通学している学校名を Web フォームで選択してください。

	学校名
小学校	三の丸、新玉、足柄、芦子、大窪、早川、山王、久野、富水 町田、下府中、桜井、千代、下曽我、国府津、酒匂、片浦 曽我、東富水、前羽、下中、矢作、報徳、豊川、富士見
中学校	城山、白鷗、白山、城南、鴨宮、千代、国府津、酒匂、泉中 橘中、城北

問4：本調査票を持ち帰ったお子さまの就学指定校※について、あてはまるものを1つ Web フォームで選択してください。

（1）就学指定校に通学している （2）就学指定校以外に通学している
（3）わからない

※：お住まいの住所（通学区域）にもとづいて通学する小田原市立小・中学校のこと

小・中学校の学級数について

問5：本調査票を持ち帰ったお子さまが所属する学年は何学級あるか教えてください。あてはまるものを1つ Web フォームで選択してください。

（1）1学級 （2）2学級 （3）3学級 （4）4学級 （5）5学級
（6）6学級 （7）7学級 （8）8学級以上 （9）わからない

問6：1 学年あたりの学級数が少ない小規模な学校のメリット・デメリットについて、あなたの考えをお聞かせください。（調査項目ごとに、あなたの考えに近いものを1つ Web フォームで選択してください。）

【小規模な学校のメリット】

調査項目		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
(例) ○○がしやすい		5	4	3	2	1
(1)	子どもたちの人間関係が深まりやすい	5	4	3	2	1
(2)	学校行事や部活動等で子どもたちに個別の活動機会が多くなりやすい	5	4	3	2	1
(3)	異学年間の教育・交流活動の機会が多くなりやすい	5	4	3	2	1
(4)	教員の目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	5	4	3	2	1
(5)	I C T機器などの授業で使用する教具が一人一人に行き渡りやすい	5	4	3	2	1
(6)	学校と保護者・地域社会が連携した教育活動を展開しやすい	5	4	3	2	1

※上記以外に小規模な学校のメリットがあると思う方はその内容をご入力ください。

【小規模な学校のデメリット】

調査項目		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
(例) ○○がしやすい		5	4	3	2	1
(1)	子どもたちの人間関係や相互の評価などが固定化しやすい	5	4	3	2	1
(2)	多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい	5	4	3	2	1
(3)	集団活動や学校行事に制約が生じやすい	5	4	3	2	1
(4)	習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりにくい	5	4	3	2	1
(5)	部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい	5	4	3	2	1
(6)	P T A活動等における保護者 1 人あたりの負担が大きくなりやすい	5	4	3	2	1

※上記以外に小規模な学校のデメリットがあると思う方はその内容をご入力ください。

問2で「(1) または (2)」を選んだ、小学校3・4年生のお子さまがいらっしゃる保護者の方にお聞きます。

問7-1：今後、少子化の進行により小規模な小学校が増えることが予測されますが、1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。あてはまるもの1つをWebフォームで選択してください。

※小田原市立小学校の1学年あたり学級数の状況は資料1をご確認ください。

(1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級以上

※差し支えなければ、その学級数を選択した理由もご入力ください。

問2で「(3)」を選んだ、中学校2年生のお子さまがいらっしゃる保護者の方にお聞きます。

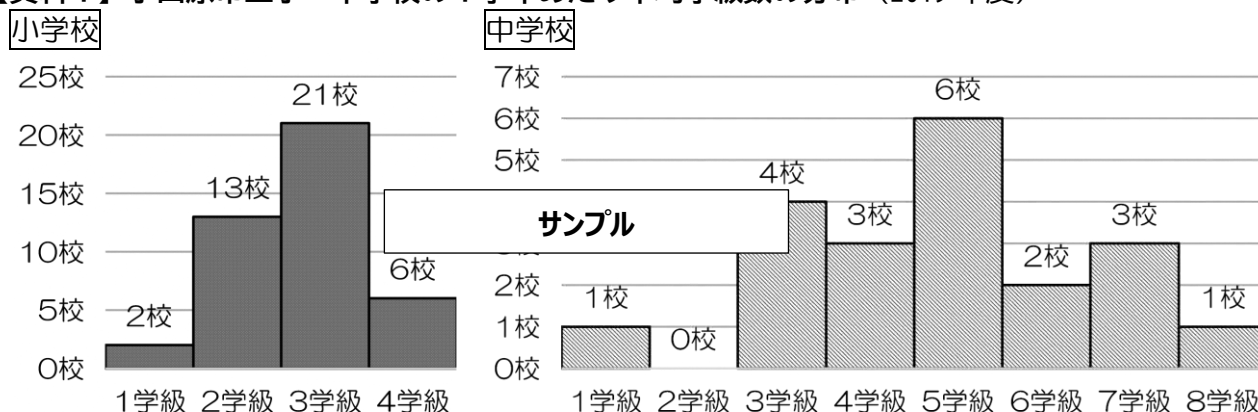
問7-2：今後、少子化の進行により小規模な中学校が増えることが予測されますが、1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。あてはまるもの1つをWebフォームで選択してください。

※小田原市立中学校の1学年あたり学級数の状況は資料1をご確認ください。

(1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級
(6) 6学級 (7) 7学級 (8) 8学級 (9) 9学級以上

※差し支えなければ、その学級数を選択した理由もご入力ください。

【資料1】小田原市立小・中学校の1学年あたり平均学級数の分布（2019年度）



子どもの通学時間や通学方法について

問8：本調査票を持ち帰ったお子さまの通学時間はどれぐらいですか。あてはまるもの1つをWebフォームで選択してください。

(1) 15分未満 (2) 15分以上 30分未満 (3) 30分以上 45分未満
(4) 45分以上

※差し支えなければ、その通学時間を選択した理由もご回答ください。

問9：本調査票を持ち帰ったお子さまの通学方法にあてはまるもの1つをWebフォームで選択してください。

(1) 徒歩のみ (2) 公共交通機関を利用 (3) その他 ()

※小田原市立小学校における最長通学時間の児童の状況は資料2をご確認ください。

- ※差し支えなければ、その通学時間を選択した理由もご入力ください。

※小田原市立中学校における最長通学時間の生徒の状況は資料2をご確認ください。

- ※差し支えなければ、その通学時間を選択した理由もご回答ください。

図表 2-1-1 小中学校の通学時間（2015年度）

通学時間	小学校	中学校
15分以内	12校	0校
30分以内	24校	13校
45分以内	5校	6校
45分以上	1校	1校

(1) 住所から近い場所にある学校への通学を認める
(2) 公共交通機関（バスなど）の利用を認める (3) スクールバスを運行する
(4) 自転車の利用を認める (5) 徒歩で構わない
(6) その他（ ）

学校施設の目指す姿について

問 12：以下は、本市の学校施設整備の基本方針のうち、「教育環境の充実に向けた基本方針」です。
5つの基本方針（カッコ内は例示）のうち、あなたが「新しい学校」に最も望むことは何ですか。あてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。

- (1) 安心・安全な学校づくり
(防犯対策、安全性の高い学習・生活空間)
- (2) 多様な学習形態に対応する学習空間づくり
(教室と多目的スペースの組み合わせ等による柔軟な空間利用、ICT の活用と連動した図書館機能の強化、STEAM 教育（※1）に対応した特別教室)
- (3) バリアフリー・ユニバーサルデザイン (UD) の推進
(エレベーター・スロープ・みんなのトイレの設置、UD に配慮したサイン表示)
- (4) 環境への配慮 (省エネ、再エネ、木質化、芝生化)
- (5) 地域とのつながりを育てる施設づくり
(避難所機能の強化、地域の方が使えるスペースの整備)

出典：「小田原市学校施設中長期整備計画」（令和2年）

※1 科学、技術、工学、芸術、数学の5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語。教科横断的な学習として国が推進している。

問 13：現在の学校施設についてどのように思いますか。（調査項目ごとに、あてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。）

区分	項目	満足度				具体的な内容 改善策など
		満足	やや満足	やや不満	不満	
(例) ○○の広さ		満足	やや満足	やや不満	不満	
教室	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	快適さ（暑さ・寒さ）	満足	やや満足	やや不満	不満	
	使いやすさ	満足	やや満足	やや不満	不満	
トイレ	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	快適さ（暑さ・寒さ）	満足	やや満足	やや不満	不満	
	衛生面	満足	やや満足	やや不満	不満	
体育館	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	快適さ（暑さ・寒さ）	満足	やや満足	やや不満	不満	
	使いやすさ	満足	やや満足	やや不満	不満	
校庭	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	使いやすさ	満足	やや満足	やや不満	不満	
プール	広さ	満足	やや満足	やや不満	不満	
	安全性	満足	やや満足	やや不満	不満	
	使いやすさ	満足	やや満足	やや不満	不満	

問 14：学校施設で地域の方や一般の方が利用できるよう開放してほしいと思うのはどの施設ですか。（体育館・校庭は既に開放しています）（調査項目ごとに、あてはまるものを3つまで Web フォームで選択してください。）

- | | | | |
|------------|---------------|----------|-------------|
| (1) 図書室 | (2) 音楽室 | (3) 理科室 | (4) 図工室・美術室 |
| (5) 家庭科室 | (6) 木工・金工室 | (7) 被服室 | (8) 視聴覚室 |
| (9) ランチルーム | (10) 現状のままでよい | (11) その他 | |

※ (11) その他に回答した方は内容を入力してください。

問 15：学校敷地に併設・隣接しているといいと思うのはどのような施設ですか。（あてあまるものを3つまで Web フォームで選択してください。）

- （1）保育所、幼稚園、認定こども園などの子育て支援施設
- （2）老人ホーム、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設
- （3）グループホームや作業所などの障がい者支援施設
- （4）災害時に利用できる施設 （5）商業施設 （6）公園
- （7）現状のままでよい （8）その他

※（8）その他に回答した方は内容を入力してください。

問 16：学校施設に前の設問で挙げた施設等が併設・隣接された場合、どのような配慮が必要になると考えますか。あてはまるもの1つを Web フォームで選択してください。

- （1）学習活動に集中できるようにする
- （2）事故防止の対策
- （3）事故が起きた時に責任の所在を明確にするルール
- （4）光熱水費などの費用負担のルール

問 17：「新しい学校づくり」に対するご意見やご要望などがありましたら、自由に入力してください。

【自由記述で回答】

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。